

一人は万人のために、万人は一人のために

京都 労福協

発行

京都労働者福祉協議会

京都市中京区壬生仙念町

30-2 (ラポール京都内)

TEL 075 (821) 5551

FAX 075 (801) 7600

発行責任者 村岡和也

<http://kyoto.rofuku.net>

京都労福協 第59回 定期総会開催

労働者の福祉要求の実現をつうじて、労働者、家族の生活の向上と安定をはかり、真に、平和で豊かなくらしを保障する社会を創る



5月28日、ラポール京都に於いて、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」をスローガンに、第59回定期総会を開催しました。

総会は冒頭、廣副副会長の開会挨拶で始まり、議長に連合京都の土淵副事務局長を選出、来賓には、京都府より野村賢治商工労働観光部雇用政策監、京都市より、松森敏郎文化市民局勤労福祉青少年担当部長にご臨席頂き、知事・市長の祝辞を頂きました。

主催者を代表して、橋元信一会長より「第59回京都労福協定期総会にご参集頂いた、代議員・傍聴の皆様、また、ご多用の中、本総会にご臨席頂きました、京都府・京都市の御代表の皆様、京都労福協を代表し心から感謝申し上げます。

現在、国会では集团的自衛権発動の要件としている「新3要件」の解釈のしかたについて議論されている。集团的自衛権行使の最大の問題は、その「範囲」や「対象」について、新3

要件を満たしているかどうかの判断が、時の政府の裁量次第でいくらかでも広がるということであり、今後もこの問題の本質をしつかりと見極めた活動を展開しなければならない。

また、まもなく労働法制の議論が始まる。政府は成長戦略の名のもとに、働く者の雇用をおびやかすような労働者保護ルールの改悪を行おうとしている。職業を持つ人の9割が雇用労働者である「雇用社会日本」において、働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど決して許されるものではない。

特に、「ホワイトカラー・エグゼンプション」一定年収以上の労働者を、その労働時間ルールの対象外にする、いわゆる「残業代ゼロ」の制度については、年収400万〜500万の労働者もその対象になる恐れがある。正社員ゼロ・くびきり自由などの働く人の権利を次々に奪い、成長のために労働者を踏み台にするような動きは、自分たちの問題として取り組みを展開し、断固阻止しなければならぬ。

京都労福協は、その時々の社会状況に応じて運動を変えていかなければならないという考えから、各地区の労福協・事業団体・労働団体と協力し、昨年より、福祉・地域貢献活動を実施してきた。昨年は、フイリピン

のスラム街で暮らす子供達に古着や文房具を提供する活動と、京都府内での活動として、天の橋立の松林の清掃作業を行った。今年度は、東日本震災から4年が経過し、支援や復興に対し社会の意識が低下していく中、被災地ではまだまだ支援の手を必要としていることから、南相馬地域でのボランティア活動を実施する。会員の皆様のご協力をお願いしたい。

私たち労福協は、労働団体である連合京都や京都総評、事業団体の労働金庫・全労済・総合会館・勤労者学園・エルユニオン・生協連の力をお借りし、労働者自主福祉・共済活動を理解して頂く活動と、京都労働運動の一翼を担うという役割を果たせるよう取り組みを進めていく。今一度、それぞれの団体の活動を理解して頂き、そして、私たち働く者・生活する者の共助の立場から、協同・連帯の輪を拡げて行きますので、引き続きの協力をお願いしたい。」と挨拶がなされました。

引き続き、議案審議に入り、2014年度活動・会計・会計監査報告を満場一致で承認の後、2015年度活動方針・予算案・役員補充・功労者表彰・スローガン採択が提案決定され、第59回定期総会を終了しました。

役員体制は以下の通りです。



役員

会長	橋元 信一	副会長	廣岡 和晃	副会長	梶川 憲	副会長	西田 恭志	事務局長	村岡 和也	理事	岸本 満	理事	東出 秀幸	理事	原 敏之	理事	佐々木 裕和	理事	河村 勝治	理事	池田 豊	理事	佐古田 博	理事	池田 和弘	理事	田中 行夫	理事	横山 治生	理事	大西 正樹	理事	後藤 博成	理事	上尾 寅彦	理事	山縣 哲也	理事	馬場 隆雄	理事	高瀬 直樹	理事	田伏 信二
----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	------	-------	----	------	----	-------	----	------	----	--------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------

新任

新任

退任役員

お知らせ

◇卓球大会◇

日程：9月13日（日）
場所：伏見港体育館

◇野球大会◇

日程：10月3・10・17日（各土曜日）
場所：殿田球場

※詳細はHPで確認して下さい。

働くうえで役に立つ知識・技能と教養を身につける総合学習施設
府市民教室受講生：8月5日(水)
京都労働学校秋期生：9月7日(月) 募集開始！
(英会話・パソコン教室など)

ラポール学園
(公益社団法人 京都勤労者学園)

ラポール京都3F 電話 075-801-5925

ラポール学園



次に、ラコパふくしま(労働会館)を訪ね、福島県労働協から見た現在の復興・復興への取り組みまた「ふくしま復興のあゆみ」というテーマで福島県復興総合計画課の方から、原発の影響

まず、JA新ふくしまモニタリングセンタを視察し、食品中の放射線物質を検査するために生産者が持ち込んだ農産物を細かく砕いて45台の検出装置で測定し、安全な物だけを出荷するという施設です。このモニタリングには終わりがなく、福島県は今後も放射線と向き合っていかなければなりません。

2015年度は、労働団体・事業団体・地区労働協から29名の参加を頂き、6月19日(金)～21日(日)の3日間の行程で、東日本大震災から4年3ヶ月が経過し、今なお、放射能・津波の被害からの復旧が遅れている福島県の現状を知り、見識を深める活動を実施しました。

京都労働協は、2013年度第8回理事會に於いて、年間2回の福祉活動を実施することを決定し、昨年、2014年度はフィリピンのスラム街で暮らし子供達に古着と文房具を提供する活動と、京都府内での社会貢献活動として、日本三景・天の橋立の松林の清掃活動を実施しました。

2015年度 京都労働協福祉活動 実施

響で11万人を超える方々が避難生活を余儀なくされている状況や、風評被害などによる福島経済の状況・今後の課題についての講義を頂きました。

2日目は、飯館村での大規模な除染作業を視察しながら南相馬地域に移動し、津波の被害を受けた小高地区でのボランティア活動を行いました。内容は、津波で流された個人宅の敷地内での竹の伐採や草刈りなどの清掃活動です。大変暑い中、参加者全員が作業に取り組み、作業の前と後とは見違えるような風景になりました。

ボランティア活動の後、浪江町請戸地区を視察しましたが、今は何もありません。

請戸地区は、元々漁師町で震災前は500戸以上の民家が建ち並ぶ町でしたが、今は全くその様子は無く、広大な土地に傾いた家何戸かあるだけです。

この地域は、「警戒地域」に指定されていて、震災から4年3ヶ月が経つ現在でも自由に立ち入ることができず、復興には程遠い状態です。

他の津波被害を受けた地域が着実に復興・復興に向け進んでいる中で、この放射能被害を受けた地域は取り残されています。

最終日は自由行動とし、更に南三陸地域へ視察に行ったり、観光地を巡るなどで少しは被災地の経済へも貢献できたかと思えます。

今回、参加頂いた皆様には心から感謝申し上げます。それぞれこの視察・ボランティアの中で感じたものを今後の活動に活かしていただければと思います。

京都労働協も被災地へ対する社会の意識が低下していく中、末永い支援を続けていきます。

すべての勤労者の笑顔のために
《意思あるお金》の流れをつくらう!

社会貢献預金

すまいる

寄付コース [寄付先団体と概要]

エコ推進コース

NPO法人 葉の花プロジェクトネットワーク
《循環型社会の推進》
公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会
《大阪府の貴重な自然と生物の保護活動》

災害復興支援コース

あしなが育英会
《災害・病児等の育児支援》
わかやまNPOセンター・奈良NPOセンター
《台風災害・熊野古道の復興支援》

○個別の寄付先団体を選ぶのではなく、上記4つの「寄付コース」の中から、ご希望のコースを選んでいただきます。
○各寄付コースでは、見学・体験ツアーやセミナー・シンポジウム等、参加型社会貢献スタイルの企画を進めます。

子供たちの未来応援コース

NPO法人 日本クリニックラウン協会
《入院中の子どものための応援》
NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス
《小児がん専門治療施設の応援》

国際協力コース

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス
《紛争国の地雷撤去と紛争被害者支援》
公益社団法人 アジア協会・アジア友の会
《井戸を掘り「命の水」を贈る事業》

商品概要	預金種類	スーパー定期・大口定期(1000万円以上)
	お預入期間	1年(自動継続) ※元利自動継続・元金自動継続のいずれか
	お預入金額	1万円以上(個人・団体)
	預金金利	定期預金の店頭表示金利より、一定金利を引き下げさせていただきます。
	寄付金額	各寄付コースにおける年度末のお預入れ残高の「0.1%」とし、くろうきんから寄付を行います。

※ 店頭に商品説明書をご用意しております。2015年6月1日現在

すべての勤労者の笑顔のために (携帯サイト)

近畿ろうきん

<http://www.rokin.or.jp>



<http://krokin.jp>

京都地区統括本部
tel. 075-801-7317

全労済

非常利から、できる保障がある。

ZENROSAI 27158018

新しい住まいの保障、
新登場。

掛金がお手頃な「マンション専用プラン」を新設しました!

地震保障をさらに充実。大規模半壊時の保障を手厚くしました!

3つの特約を新設。さらに幅広い安心をご提供します!

- ・個人賠償責任共済
- ・顕微鏡検査保障特約
- ・盗難保障特約

全労済の
住まいる共済

〔新〕火災共済・〔新〕自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 京都府本部
(全京都勤労者共済生活協同組合)

075-812-7800

平日9時～17時 土日祝・年末年始休業

<http://www.zenrosai.coop>